

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	武 寛子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
就学前教育や義務教育に関する他国の状況を理解し、その相違点と共通点について考察する。他国との比較を通じて自国がいかに学ぶことができるのかを考察する。関連する分野の先行研究を読み、それぞれに発表を行う。各自、興味のある事例を選び、研究発表を行う。			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。ディスカッションおよびグループワークを取り入れ、文献の輪読や研究発表を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業概要の説明	授業の概要を説明し、ゼミの方向性を確認する	<input type="checkbox"/>
第2回	文献収集および意見交換	発表に関する文献の紹介および検索	<input type="checkbox"/>
第3回	文献収集および意見交換	レポートに関する文献の紹介および検索	<input type="checkbox"/>
第4回	発表の方向性に関する確認	各自の興味関心について確認を行い、学生間で交流を行う	<input type="checkbox"/>
第5回	研究報告①	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第6回	研究報告②	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第7回	研究報告③	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第8回	研究報告④	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第9回	研究報告⑤	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第10回	レポートに関する中間確認	レポートに進捗状況について共有し、学生間で交流を行う	<input type="checkbox"/>
第11回	レポート報告①	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第12回	レポート報告②	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第13回	レポート報告③	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第14回	レポート報告④	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	各自の研究成果のまとめと意見交換	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)	
これまでの調査・研究の成果をレポートおよび発表で示せるように準備しておく。（2時間）授業内での気づきや課題を調べる。（2時間）	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)	
研究成果を報告するためのレポート課題を実施する。レポートの内容を確認後、より研究を深められるように自主学習の方法の提案や資料を提供する。	

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	比較教育学の視点を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題についての的確に判断し、自らの言葉で表現、発信することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	他国の社会、文化、教育・保育に関連する知識を習得しながら、比較教育学の視点にたって類似点や相違点について考察するための資質や知識を身につけている。

主体性	◆ 2019全学共通DP3	他国の状況を知ること、日本の保育・教育現場に関する視野を広げ、客観的に考察することができる。
-----	---------------	--

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
授業内で扱ったテーマについて自身の研究テーマを設定し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業中に指示する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業中に指示する	
2		
3		
4		
5		